

「音楽科」の学習

1. 教科の目標

- ・主体的に音楽の活動に取り組み、音楽を愛好する心情を深める。
- ・音楽活動の基礎的な能力を身につけ、音楽に対する豊かな感性を伸ばす。
- ・音楽文化について理解を深め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を養う。

2. 観点別評価項目と主な評価内容

	観 点	主な評価観点
①	知識・技能	楽曲の特徴や音楽の構造、背景などの理解・歌唱、器楽および創作の基礎的な技術の習得
②	思考・判断・表現	楽曲の感じ取り・表現の創意工夫・表現力
③	主体的に学習に取り組む態度	主体的な活動・グループ学習・提出物・授業態度

3. 観点別の具体的な心構えや学習方法（①～③は、上記の観点です）

	心構えや学習方法
①	<p>☆音楽を形づくっている要素（音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式など）を理解し、楽譜をていねいに読み取ることができる。</p> <p>☆歌唱活動において、良い姿勢や発声、言葉の発音などの技能を習得し、正確な音程、リズムで歌うことができる。</p> <p>☆器楽活動において、楽器の構造を理解し、正しい奏法、良い音色で演奏することができる。</p> <p>☆全体の響きや各声部の声または音を聴きながら、友達と合わせて歌ったり演奏したりすることができる。</p> <p>☆創作の活動において、音の重なりや音楽の構成を理解し、旋律やリズムを創作することができる。</p> <p>☆鑑賞の活動において、曲の特徴とその背景となる文化や歴史を理解することができる。</p>
②	<p>☆歌唱や器楽活動において、歌詞の内容や音楽を形づくっている要素（音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式など）の働きを感じ取ることができる。</p> <p>☆歌唱、器楽、創作活動において、自分の思いをもって、より美しい表現の工夫ができる。</p> <p>☆鑑賞の活動において、知識を活かして自分なりに曲を分析し、その音楽の良さや美しさについて自分の考えを述べることができる。</p>
③	<p>☆授業の心構え（ベル着、必要な準備）が継続的に実行できる。</p> <p>☆音楽活動中に集中して取り組める。繰り返し練習に励む。</p> <p>☆グループ活動に積極的に参加し、友達と思いや意図を共有することで、自分の音楽の感じ方や表現を深めることができる。</p> <p>☆学習プリントやワークに取り組み、提出できる。</p>

4. 家庭学習のあり方

- ・授業の準備物が必ずそろえられるように、前もって用意をしておこう。
- ・日頃からさまざまな音や音楽に耳を傾け、その美しさやよさを味わおう。
- ・授業で出会った音楽に対して興味を持ったときは、その曲に関連する音楽を探して聴いたり、作曲者や時代背景について調べたりして、音楽の世界を広げよう。
- ・アルトリコーダーの運指を確認し、繰り返し練習しよう。

5. 年間指導計画

	1年（45時間）	2年（35時間）	3年（35時間）
前期	<ul style="list-style-type: none"> ○歌声をつくろう 「校歌」 ○弦楽器の演奏を觀賞しよう ○アルトリコーダーに親しまおう ○言葉のリズムを楽しもう ○合唱コンクールの曲に取り組もう 	<ul style="list-style-type: none"> ○混声合唱を楽しもう ○パイプオルガンのしくみを理解し、音色を味わおう ○アルトリコーダーを楽しもう ○旋律の動きを理解して表現を工夫しよう ○合唱コンクールの曲に取り組もう 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の歌を楽しもう ○世界のポピュラー音楽に親しまおう ○オペラを通して、音楽と他の芸術の関わりを理解しよう ○詩や曲がつけられた背景を理解して、曲にこめられた思いを表現しよう ○合唱コンクールの曲に取り組もう
後期	<ul style="list-style-type: none"> ○物語と歌手の歌い方に注目して鑑賞しよう ○歌詞の内容を大切にしながら歌おう ○ギターに挑戦しよう ○箏曲を鑑賞しよう ○箏に親しまおう ○豊かな歌声を響かそう 「卒業式歌」 	<ul style="list-style-type: none"> ○曲のしくみに注目して名曲を楽しもう ○曲の特徴を生かして表情豊かに独唱しよう ○日本の伝統音楽に親しまおう ○箏で合奏しよう ○豊かなハーモニーをつくらう 「卒業式歌」 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の伝統音楽に親しまおう ○調や速度の変化を生かした表現を工夫しよう ○混声三部合唱でハーモニーを味わおう ○ギターで合奏しよう ○のびのびと歌いあげよう 「卒業式歌」

